

令和2年度 第1回磐田市廃棄物減量化等推進審議会 会議録

【日時】 令和2年7月29日（水）午前10時00分～午前11時15分

【会場】 磐田市クリーンセンター 2階研修室

【出席者】 会長 藤田 允
副会長 伊藤 よし子
委員 玉田 文江 寺田 ヒサ子
今泉 佳代 宮地 浩
山本 壮志 伊藤 慎弥
渡邊 カルロス 寺田 辰蔵
鎌田 俊己 鈴木 哲一
武藤 美恵

順不同（13名出席）

【事務局】 環境水道部長、ごみ対策課長、ごみ対策課長補佐、
ごみ対策課主幹、審議会担当職員2名

【会議概要】

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 環境水道部長挨拶
4. 委員自己紹介
5. 役員の選出
6. 議事
 - (1) 本市のごみ排出量について
 - (2) 令和2年度主な取り組みについて
 - (3) その他報告事項
7. 閉会

【意見・質疑の主な内容】

1. 開会

〈事務局〉 本日はお忙しい中、廃棄物減量化等推進審議会にお集まりいただきましてありがとうございます。日頃は、本市のごみ減量施策にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。本日進行を務めさせていただきます、ごみ対策課長の仲村です。よろしくお願いいたします。

はじめに、この廃棄物減量化等推進審議会は、一般廃棄物の減量化や資源化の推進、適正処理に関することなどについて、市民の代表の方々にご審議いただくため、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例により設置されております。前任の委員の皆さまの任期が6月末で満了となったため、新たに13名の委員の皆さまに委員をお願いすることとなりました。会長、副会長が選任されるまでの間は、私のほうで会を進行させていただきます。

それでは、令和2年度、第1回磐田市廃棄物減量化等推進審議会を開催いたします。

2. 委嘱状交付

3. 環境水道部長挨拶

〈環境水道部長〉 皆さんこんにちは。環境水道部長の匂坂でございます。よろしくお願いいたします。皆さまにおかれましては、大変お忙しい中、審議会委員をお引き受けいただき本当にありがとうございます。また、皆さまをご推薦いただいた所属団体様におかれましても、ご配慮いただきお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて皆さまには、磐田市の廃棄物行政の根幹となります、ごみの減量化とリサイクルの推進について、今後2年間ご意見をいただきたいと思っております。

今月の上旬には、コロナ禍の中、九州を中心に全国的な豪雨災害がありましたが、現地では災害廃棄物が大量に出て、処分に大変苦労されています。磐田市におきましてもごみ収集車やバキュームカー、給水車などは環境水道部が担当しておりますが、やはりライフラインやごみ対策というものは、市民生活の中で一番重要なものだと思っております。

ごみの減量化やリサイクルにつきまして、皆さまのお知恵を拝借してより良い磐田市にしていきたいと思っておりますので、よ

ろしくお願いいたします。

4. 委員自己紹介

5. 役員の選出

〈事務局〉 次に、会議成立のご報告を致します。この審議会は、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例により、20人以内で組織するものとされています。磐田市廃棄物減量及び適正処理に関する条例施行規則第25条2項により、委員過半数の出席が無ければ、会議を開くことが出来ないとされておりますが、本日、13名の委員の皆さま全員にご出席を頂いておりますので、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。

次に、役員の選出に移らせて頂きます。会長、副会長の選任につきましては、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第24条第1項に委員の互選により定めると規定されております。皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

〈委員〉 《事務局に一任》

〈事務局〉 只今、事務局にというお声がありましたが、他にご意見がないようでしたら、事務局から会長、副会長の人選についてご提案させて頂きたいと思いますが、宜しいでしょうか。

〈委員〉 《異議なし》

〈事務局〉 会長には、前回の審議会で副会長を務めて頂きました、磐田市自治会連合会の藤田允委員が適任かと存じます。また、副会長には、いわた消費者協会の伊藤よし子委員にお願いしたいと考えますが、いかがでしょうか。

〈委員〉 《異議なし》

〈事務局〉 ありがとうございます。ご異議がないようですので、会長には磐田市自治会連合会の藤田允委員に、副会長にはいわた消費者協会の伊藤よし子委員にお願い致します。それでは、会長、副会長、お席の方に移動をお願いします。

それでは、藤田会長、伊藤副会長よりご挨拶をお願いします。

〈会長〉 皆さんこんにちは。ごみ対策の審議会は今年で3年目になります。皆様のご協力を得まして、務めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

〈副会長〉 主婦として、どんなことができるか考えてみました。家庭ごみの減量をと思っておりますので、皆さんにいろいろお教えいただきながら頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

〈事務局〉 ありがとうございます。審議会の進行については、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第25条第1項により会長が議長になります。以後の議事、進行は藤田会長をお願いします。

6. 議事

- (1) 本市のごみ排出量について
- (2) 令和2年度主な取り組みについて
- (3) その他報告事項

《(1)～(3)を事務局より一括して説明》

〈会長〉 ありがとうございます。ただいま事務局の方から説明がありました。皆様のご質問があればお受けしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

〈委員〉 現在コロナ禍で、ステイホームや家庭調理が増えています。特に飲食店支援でテイクアウトを宣伝しており、プラスチックごみが増えるという罪悪感がありながらも利用しがちです。今、容器そのものが食べられる容器や、プラスチックではないストローも開発されている、そんな情報を聞いたりします。情報がありましたら、お伺いしたいと思います。

〈事務局〉 コロナ禍で非常にごみが増えているという説明をしましたが、家庭ごみが本当に増えました。クリーンセンターも、ゴールデンウィークの時には1時間待ちという時もありましたが、最近は落ち着いてきました。逆に、事業所のごみは、休業要請の影響で前

年の同じ時期より1割ほど減りましたが、今月ぐらいから例年並みに戻ってきております。

ご指摘いただいた新しい情報ですが、レジ袋の有料化に際しても、植物性由来の原料のもの等が開発されて使っていただいておりますので、民間の事業者さんにご理解いただいて、取り組んでいただければと思っております。

<委員> 私も、店をやっています、お客様と話をしますが、使い回しで、すごく汚いレジ袋を持ってこられる方もいらっしゃって、逆に非衛生的だという話も聞きますし、車の中に100枚入りのレジ袋を入れてあって、その都度それを使って捨てる、そういう形を取っている方もいらっしゃいます。

磐田市はバイオマスのレジ袋を、プラの方に入れても燃えるごみの方に入れても受け取ると思いますが、その辺を確認したいです。

<事務局> 現状においては、レジ袋でも、プラマークの表示があるものはプラスチック製容器包装で、それ以外のついてないものは、燃えるごみとして対応をしております。

もう1点、マイバッグの持参の関係です。報道とか新聞で、逆に不衛生ではないかとか、プラスチックごみの全体の中では、レジ袋はほんの数%しかないということを聞きますが、広報等で市民の皆さんに啓発活動をして、環境問題に意識を持っていただくことが重要だと思っております。

<会長> 最近、マイバックを持って買い物される方が増え、なるべくごみを出さないという考え方が増えていると思います。このような運動を続けていけばかなり減るのではないのでしょうか。プラスチックごみは減らしようがないですが、生ごみと雑がみは減らせると思います。

生ごみに関しては、コンポスト等をもう少し広げる運動をしたらよいと思います。雑がみについても、燃えるごみで捨てることが多いですが、コンテナの回収もやっていますので、もう少しアピールすれば、燃えるごみが減ると思います。

<事務局> コンポストの補助金交付の状況は、過去5年間で実績が30件台

から、多い時は80件台のご利用をいただいています。プラスチック製の容器ですので、耐用年数も5年ぐらいということで、そういう方の買い替え需要もあり、新規でどれくらい増えているかという面はあると思います。ちなみに展示用の小型のコンポストがありますので、見ていただきたいと思います。土に埋めないような形のコンポストになります。ホームセンター等で2,000円から3,000円ぐらいで販売しており、土や庭がなくてもベランダ等で置けるというものです。

補助金制度やコンポストの有効活用については、3月に各家庭にお配りしたごみ分別ガイドブックでPRしています。雑がみについても同様に、どういうものが雑がみになるかを掲載しています。

リサイクルステーションが、4月から温水プールの東側に移転しましたが、手提げの紙袋に、お菓子の箱やティッシュペーパーの空き箱等を詰めて置いていかれているのを確認していますので、ある程度浸透してきていると思っております。

<委員> 磐田市の燃えるごみが大変多いということを知り、コンポストを普及させないとごみが減らないということが分かりました。コンポストを買ってくださいと言うと躊躇する方がいらっしゃると思います。ですので、コンポスト等で生ごみが堆肥になりますよというPRをどのように考えているのか、聞きたいと思います。若い方でもできると思うので、事業者からもらってきて配るとかすれば、普及するのではないかと思います。

<事務局> コンポストについては、広報いわたで、例えば使用されている委員さんに登場いただき、こんなに効果があるんだと写真付きで掲載することも考えていければと思いますので、是非ご協力をよろしくお願いします。

<委員> 資源ごみは、売れるものは売りお金をもらいます。資源回収した中に売れるものはあるのですか。

<事務局> ビンやペットボトル等は入札をして業者に買い取っていただきそのお金をごみ処理の経費に充てています。

<委員> 陶器は埋め立てごみで捨てるので、埋め立てて何十年もそのままになってしまいます。以前、愛知県瀬戸市に観光に行った時に、回収してまた陶器の材料にするステーションがたくさんありました。なかなか難しいとは思いますが、磐田市で1か所でもそのように集めてくれるところがあれば、心が痛むのが少なくなるなど思っています、お願いしたいと思えます。

<事務局> 本市でもガラスや陶器を分別することで再資源化ができるという研究をしていますが、今すぐに結論を出す段階には至っていません。研究してごみを資源に変えていきたいと思えます。貴重なご意見ありがとうございました。

<委員> ごみ処理にかかっている費用や経費が分かる資料があればいいと思えますので、検討してください。

<事務局> 広報いわたでごみの特集をした時に、1年間当たりごみ処理に、いくらぐらいかかっているかを載せたことがあります。年間で約15億円かかっており、1人当たり、約8,000円～9,000円かかっているというお知らせをさせていただきました。

<事務局> 補足ですが、1人当たりの処理料、経費がいくらかかっているかを、広報いわたで、年度末に掲載させていただいております。

<委員> 今回、いそじ会から参考に配られたパンフレットを見ましたが、大変良い取り組みが書いてありますので、もう少し回覧で回すとかのPRをしていただければありがたいと思えます。

<委員> ありがとうございます。いそじ会では、資源回収でこれまではチラシやパンフレットの上質紙のみを扱っていましたが、製紙会社の協力で、新聞と段ボール以外の雑がみは全て受け付けてくれることになりました。是非ご利用いただきたいです。広報に載せたことはありますが、回覧も検討していきたいと思えます。

<会長> ありがとうございます。意外と雑がみが見落とされるような気がします。雑がみを再利用すれば、かなりごみが減ると思えますので、生ごみと同様にご検討いただければと思えます。それか

ら、啓発のしかたです。回覧等で回すと、意外と知らない事が多いので、自治会連合会でも検討させていただきますので、よろしくをお願いします。

時間の方が来ましたので、あと意見だけあればお願いします。

<委員> 3Rの推進が取り組まれています、県の方では6Rの推進も行っている、そちらの検討をお願いします。

<委員> ペットボトルを減らそうという意見がある割には、自治会のスポーツ大会や老人会の会合等で1人1本飲み物が出ますが、やめていいと思います。生ごみは、水切りをして出すことを広報いわたや回覧板で回したほうがいいと思います。木は、切った後1週間程度放置しておく、軽くなります。各家庭で出た木は、1週間乾かして出すと燃えやすくなるのではと常々感じています。

あと、この審議会は男性の方が多い印象ですが、公募で若い女性を入れた方が、よりよい意見が出ると思います。

<会長> ありがとうございます。それでは終了したいと思います。

<事務局> 会長ありがとうございます。委員の皆様も、熱心なご審議をいただきまして、ありがとうございます。今日、たくさんご意見いただきまして、啓発の仕方がまだまだ必要だと思いました。また、ご意見がありましたら、事務局の方にいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

以上を持ちまして、令和2年度第1回審議会を終了いたします。ありがとうございました。

7. 閉会